



社会で勝て 「誠実」で勝て

天から降り注ぐ太陽の光に、赤く照らされたビル群。地上では、人々が行き交い、頭脳を回転させ、競ったり励まし合ったりしながら、「きょう」という一日に価値を生み出そうと戦っている。

アメリカ西部の要衝サンフランシスコ。1993年（平成5年）3月、池田名誉会長は、13年ぶりに、この街を訪れていた。近郊のカリフォルニア大学バークレー校を訪問。また、大科学者ライナス・ポーリング博士と4

度目の対談を行った。その滞在中に撮った1枚である。

今月24日は「社会部の日」。仏の別名を「世雄」——社会の英雄ともいう。わが胸中に「不屈の太陽」を昇らせながら、仏法を証明する挑戦の日々を！

これからは、
人間自身の持つ、
いな人間のみが持つ
「知力」と「創造力」が
勝負を決する時代だ。
「以信代慧(信を以って慧に代う)」の
生命哲理を持つている人生が
どれほど強いのか。

勇敢なる信心がある限り、
智慧は尽きることがない。
「誠実」こそ宝である。
策でもない。
命令でも、号令でもない。
「誠実」こそが人を動かす。
長い目で見た時には、



イギリス・スコットランドを初訪問した池田名誉会長。
職場や地域で奮闘する同志に「栄光あれ！ 勝利あれ！
幸福あれ！」と（1994年6月、グラスゴー市内で）

必ず誠実の人が勝っている。
そして状況がどう変わろうとも、
我が胸中の誠は、
誰人も奪うことはできない。

妙法は
「生活」と「社会」と「宇宙」の
根本のリズムである。
観念ではない。道理である。
真剣な祈りから出発する。
そして、これ以上ないという
努力を重ね、死力を尽くす。
これが
「信心即生活」の生き方である。
そこに、諸天も動く。

太陽は毎日、
黙々と我が軌道を進む。
きょうも、あすも、
休むことなく、
はつらつと昇り、
天地を照らし、
莊嚴に沈む。
そのリズムを崩さない。
生活も太陽のごとく、
単調のようで、
これほど偉大な営みはない。
赫々たる「生活の勝利」。
それこそが
「信心の勝利」なのである。